

# 令和3年度 公益財団法人富山県体育協会事業報告

本会は、スポーツを普及、振興し、県民の体力向上とスポーツ精神の高揚を図り、明朗快活なスポーツ文化の進展に寄与するため、加盟団体をはじめ関係機関・団体等との連携・協働を図り、各種活動を積極的・効果的に推進した。

本年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で、北信越国民体育大会では一部競技が、国民体育大会本大会では全競技が中止となったが、冬季大会は、感染防止対策を徹底した上で実施された。また、県内で感染症が拡大した時期(8月18日～9月26日)を除いて、県営体育施設等においては、こまめな消毒や換気に努めるとともに利用人数の制限を設けるなど感染症防止対策を徹底して開館した。

こうした中でも、開催された全国大会において優勝を輩出するなど輝かしい成績を収めるとともに、各種事業において、ICTの活用など創意・工夫を凝らして展開した。また、東京オリンピックにおいて、県営体育施設でトレーニングを行ったスケートボード女子の中山選手が銅メダルを獲得するなど本県ゆかりの多くの選手が活躍し、県民に勇気と感動を与えた。

さらに、総合型クラブの登録・認証制度が令和4年度から開始されるため、3年度に「とやまSCネット」の事務局を本協会に移行し、諸規程の整備や関係機関との協議を進めた。

## I 法人運営

### 1. 諸会議等の開催

事業の適時適切な推進を図るため、次のとおり諸会議等を開催した。

会議名	回数	期 日	主な審議内容	
評議員会	1回	令和3年6月18日(金): 書面審議	事業報告・決算	
	2回	令和4年3月31日(木): 書面審議	役員を選任	
理事会	1回	令和3年4月1日(木): 書面審議	代表理事の選定	
	2回	令和3年5月24日(月)	事業報告・決算	
	3回	令和3年11月17日(水)	表彰者選考	
	4回	令和4年3月14日(月)	事業計画・予算	
	5回	令和4年3月29日(火): 書面審議	役員を推薦	
専門委員会	総務委員会	1回	令和3年5月24日(月)	事業報告・決算
		2回	令和3年11月17日(水)	表彰者選考
		3回	令和4年3月14日(月)	事業計画・予算
普及委員会	1回	令和3年11月10日(水)	体協 TOYAMA・普及振興事業・スポ少事業	

専門委員会	強化委員会	1回	令和3年7月5日(月): 書面審議	副委員長の選任
		2回	令和3年8月5日(木)	未来のアスリート17期生募集
		3回	令和3年12月21日(火)	未来のアスリート17期生2次選考
	スポーツ医科学委員会	1回	令和4年3月22日(火): 書面審議	国体選手問診表他
特別委員会	国民体育大会選考委員会	1回	令和3年8月5日(木)	国体選手選考
		2回	令和3年12月21日(火)	
		3回	令和4年1月20日(木)	

## 2. 各種スポーツ関係団体の功労者及び優秀選手等の表彰

永年にわたり本県のスポーツ振興に貢献し、その功績が顕著と認められた者や本県のスポーツの向上に尽力し、その成績が特に優秀な団体及び個人を令和3年12月13日(月)に表彰した。

種類	受賞者・受賞団体数	
特別感謝状	個人 1名	—
特別表彰	個人 20名	団体 1団体
国体表彰	個人 3名	—
感謝状	個人 21名	—
計	個人 45名	団体 1団体

## 3. 競技団体への会計諸帳簿検査

競技団体への経理について、より適切に事務処理を行うため、適宜顧問税理士による経理指導を行った。抽出した富山陸上競技協会ほか8団体について、令和3年10月5日(火)、6日(水)、8日(金)の3日間、税理士等により会計諸帳簿(現金出納簿や領収書等)検査などの個別指導を実施した。

## 4. ハイパフォーマンススポーツセンター(HPSC)への職員の研修派遣

スポーツを支える人材の育成と活用を図るため、国立スポーツ科学センター(JISS)【HPSCの機関】に本会職員を1年間研修派遣し、ハイパフォーマンススポーツセンターネットワークの構築事業に従事し、関係機関からの情報収集・体力測定技術の習得などによりHPSCとの連携・強化を図った。

## 5. スポーツガバナンスコード遵守状況

スポーツガバナンスコード(スポーツ庁策定・日本スポーツ協会決定: 本会向け17審査項目)について、令和3年10月に自己説明・公表(令和3年度分)した。

## II 公益目的事業

### 1. スポーツ普及振興事業

県民が生涯にわたりスポーツに親しめるよう、健康レベル・体力レベルに応じた事業を展開した。各事業の実施については、専門性を有する理事等による専門委員会及び特別委員会を構成し、意見等を反映しながら、各分野の資格を有する当協会の職員が中心となって各事業を企画・立案し、関係団体と連携を図りながら事業を行った。なお、指導者のスポーツ指導における暴力の根絶に向け、本協会が実施する各種研修会等あらゆる機会を通して、周知徹底を図った。

#### (1) 県民のスポーツ振興及び広報啓発事業

##### ① スポーツに関する広報啓発事業

各種イベントや行事予定など、スポーツに関する情報を広く県民に周知するために、次の広報誌等を作成するとともに、だれでも必要な情報等を簡単に検索できるよう、親しみやすいホームページの充実を図った。

#### ア. 広報誌の発行

名 称	発行部数	配布先	発行回数	発行元
体協TOYAMA	2,000部/回	加盟団体、市町村教委、アスリート卒業生ほか	年1回	県体育協会
スポーツパレス便り	2,500部/回	市町村関係団体、県立学校ほか	年11回	県総合体育センター
ジムワールド	3,000部/回	呉西地区県立学校、近隣企業ほか	年12回	県西部体育センター
HEALTH SWIM in TAKAOKA	2,600部/回	県立学校、近隣企業ほか	年4回	県高岡総合プール
スポーツリーダーとやま	2,500部/回	公認スポーツ指導者、加盟団体、市町村教委ほか	年1回	県公認スポーツ指導者協議会

#### イ. インターネットを利用した情報発信

各種スポーツ情報ネットワークの中核として、機能の充実を図った。

(ア) 本会HP上での各種スポーツ情報の発信

(イ) 地域スポーツ団体やスポーツ指導者パスネットとやまの情報発信

(ウ) メールを利用したスポーツに関する情報（JISSや日本スポーツ協会等）の発信

(エ) 上記（ア）～（ウ）と、スポーツ情報ネットワーク《県委託事業：県総合体育センター》を活用し、本県の各種スポーツ情報の充実を図った。

##### ② エンジョイスportsサポート事業

地域住民の誰もが参加できるスポーツ活動に対し助成を行い、スポーツに対する興味・関心を高めるとともにスポーツ人口の拡大を図った。

実施市町村	実施事業	参加者数
富山市 ほか5市町	スポーツ体験&いのちの教室 ほか7事業	653名

③ 生涯スポーツ推進事業

県民が生涯にわたり、明るく豊かで、活力ある生活を営むために、それぞれの興味、関心、適性等に応じてスポーツを生活の中に位置づけ、主体的にスポーツ活動を楽しむことができる環境づくりの推進を図った。

ア. 巡回指導 元気とやまスポレク交流大会 2021 新川地区ほか 9 団体

イ. 研修会の開催

(ア) 地域スポーツ指導者研修会 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止

(イ) 地域スポーツスキルアップ研修会

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和3年7月7日(水)	富山県総合体育センター (公財)日本スポーツ協会 地域スポーツ推進部 クラブ育成課 課長 小澤 大樹氏 「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度に関する説明会」	69名

(ウ) (公財)日本スポーツ協会公認アシスタントマネージャー養成講習会(専門科目)

期日・会場	会場・講師・内容	受講者数
令和3年12月25日(土) ～26日(日)	富山県総合体育センター 富山大学 准教授 神野 賢治氏 「生涯スポーツ論」 ほか10講座	18名

ウ. スポーツ指導者パスネットとやまの運用

「スポーツ指導者パスネットとやま」登録者139名に指導状況調査を行うとともに、登録更新案内を送付した。

④ オリンピアンとの交流事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止

⑤ わくわく運動体験教室事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止

(2) 県民体育大会開催事業

広く県下にスポーツを普及・振興し、県民の健康と体力の増進並びに競技力の向上を図り、明るく豊かな県民生活の創造に寄与するため、次のとおり開催した。

① 第74回富山県民体育大会(夏季競技)

季	競 技	期 日(中心会期)	会 場	参加者数
夏季	陸上競技 ほか39競技	令和3年7月24日(土) ～7月26日(月)	富山市 ほか9市3町	18,695名

大会成績 (二部郡市対抗)	区分	1位	2位	3位
	一般	富山市	高岡市	黒部市
	中学	富山市	砺波市	高岡市

② 第75回富山県民体育大会(冬季競技)

季	競	期 日	会 場	参加者数
冬季	スケート競技 ほか2競技	令和3年11月20日(土) ～令和4年3月20日(日)	富山市 ほか1市	694名

(3) スポーツ指導者の養成

① スポーツ指導員養成講習会開催事業

県民のスポーツニーズが多様化する中で、専門性をもった指導員の養成が望まれているところであり、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度の資格取得講習会を開催した。

ア. 日本スポーツ協会公認指導者養成講習会

期 日	資格名	競技名	会 場	参加者数
令和3年6月27日(日) ～12月5日(日)	コーチ1	ハンドボール ほか 2競技	氷見市ふれあいスポーツセンター ほか 3会場	54名

イ. 富山県公認スポーツ指導者研修会

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和3年11月14日(日)	とやま自遊館 講演Ⅰ 二ノ丸 友幸氏(プロラグビーコーチ・人材育成プロデューサー・コーチエディタ) 「新しい時代に求められる人材(選手)とその育成法」 ～変わるべきは指導者である!～  講演Ⅱ 大浦 清和氏(大浦法律事務所) 「現在の法が求める正しいスポーツ指導」	284名

#### (4) スポーツ少年団育成事業

日本スポーツ少年団が掲げる「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する」、「スポーツを通して、青少年のからだところを育てる」という理念に基づき、本会が設置する富山県スポーツ少年団において、地域社会全体で子どもたちを育て、将来にわたり健全な生活を送れるよう、各種事業を展開した。

##### ① 組織の充実

###### ア. 組織の整備強化

###### (ア) スポーツ少年団指導者顕彰事業

期 日	会 場	受賞者数
令和4年4月21日(木)	富山県総合体育センター	1町10名

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和4年2月13日開催を延期

###### イ. 活動の充実

###### (ア) 富山県スポーツ少年団競技別総合交流大会

期 日	実施競技	会 場	参加者数
令和3年6月19日(土) ～7月18日(日)	サッカー競技 ほか 11 競技	富山市 ほか5市1町	2,573名

###### (イ) 地域交流促進事業

期 日	実施スポーツ少年団	会 場	参加者数
令和3年12月11日(土) ～12日(日)	富山市スポーツ少年団	富山市	200名

###### (ウ) 母集団育成事業

期 日	会場・実施スポーツ少年団	参加者数
令和4年1月15日(土) ～2月23日(水)	氷見市・氷見市スポーツ少年団 ほか1市1市スポーツ少年団	92名

(イ)・(ウ) とともに新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一部中止

##### ② 指導体制の整備

###### ア. 各種講習会・研修会

###### (ア) 第4回ジュニアスポーツフォーラム指導者全国研究大会

期 日	開催地	参加者数
令和3年6月13日(日)	東京都 ※WEB配信	4名

###### (イ) 北信越ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会

期 日	開催地	参加者数
令和3年11月20日(土)	福井県 ※WEB配信	4名

(ウ) 富山県スポーツ少年団指導者研修会

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和4年2月13日(日)	富山県総合体育センター 伊藤 雅充 氏(日本体育大学体育学部教授) 「大人が変われば子どもも変わる！」 ～ プレーヤーズセンタードな コーチングスキルを身につけよう!～	WEB 配信 44名 会場開催 11名

イ. スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会

期 日	会場・内容	受講者数
令和3年11月17日(水) ～12月5日(日)	自宅学習及びWEB配信	215名
令和3年12月12日(日)	富山県総合体育センター グループワーク	

③ 交流活動の推進

ア. 国際交流の推進

日独スポーツ少年団同時交流

**新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止**

イ. 全国的・地域的交流の推進

(ア) 全国交流大会

**新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止**

(イ) 北信越ブロック交流大会

期 日	実施競技	開催地	参加者数
令和3年11月7日(日)	バレーボール	福井県	14名

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一部中止

(5) 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度準備事業

令和4年度から運用開始となる総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度に向け、諸規程の整備を行うとともに、県内全クラブに対し、研修会等を行った。

期 日	会場・講師・内容	参加者等
令和3年7月7日(水)	総合体育センター ※ハイブリッド形式 小澤 大樹氏(JSPOクラブ育成課) 「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の概要」	WEB 配信 44名 会場開催 25名
令和3年12月23日(木) ～令和4年1月14日(金)	諸規程(案)等に係る意見募集	61クラブ
令和4年2月3日(木)	総合体育センター ※ハイブリッド形式 富山県体育協会事務局職員 「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度説明会」	WEB 配信 50名 会場開催 20名

## 2. スポーツ強化推進事業

国民体育大会や全国大会等で優秀な成績を収めることは、県民に大きな夢と感動を与え、大きな活力となる。このことから、国民体育大会をはじめ、全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成を目指し、関係団体と連携を図りながら、合宿・遠征事業をはじめ各種強化事業を実施し競技力向上に努めた。

### (1) 県民の競技力向上の推進

#### ① 国民体育大会等開催事業

##### ア. 第42回北信越国民体育大会

第42回北信越国民体育大会（長野県開催）は、30競技44会場で開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から5競技（テニス、バスケットボール、ウエイトリフティング、ボクシング、ホッケー）の開催が中止となった。

##### (ア) 大会概要

会期	早期開催 令和3年5月29日（土）～8月8日（日） 中心会期 令和3年8月20日（金）～22日（日）
開催地	長野県下13市3町1村 新潟県1市 富山県1市
実施競技	カヌー競技 ほか24競技 ※5競技中止
参加人数	選手・監督710名 本部・顧問16名 計726名

##### (イ) 選手団等

塩谷 雄一 団長 ほか725名

第76回国民体育大会本大会ブロック代表数 44代表獲得

##### イ. 国民体育大会

第76回大会本大会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となり、男女総合成績（天皇杯）及び女子総合成績（皇后杯）は空位として確定しない取り扱いとなった。

また、第77回大会冬季大会のスケート競技会・アイスホッケー競技会は栃木県日光市、スキー競技会は秋田県鹿角市で開催され、冬季大会終了時点で男女総合成績は17位である。

##### (ア) 大会概要

回	季		期日	開催地 (参加者数)	成績
76	本大会	会期前	中止	—	—
		中心会期			
77	冬季大会	スケート・アイスホッケー	令和4年1月24日（月） ～1月30日（日）	栃木県日光市 (23名)	入賞数 4
		スキー	令和4年2月17日（木） ～2月20日（日）	秋田県鹿角市 (65名)	入賞数 ※11

※競技別総合成績を含む



(イ) 選手団等

冬季大会

- ・スケート競技会 田中洋一郎 団長 ほか 22 名
- ・スキー競技会 武田 慎一 団長 ほか 64 名

② 競技力向上事業

ア. 国体へ向けた選手強化

(ア) 合宿・遠征事業

強化指定選手等の強化を図るため、県内合宿・県外遠征・県外優秀チーム招へいを計画的に実施した。

(イ) 強化指定事業

選手指定：少年種別 38 競技 590 名 成年種別 39 競技 543 名 計 1,133 名  
スタッフ指定：39 競技 総監督 25 名 各種別監督 116 名 コーチ 66 名 計 207 名

(ウ) アドバイザー・トレーナー招へい事業

5 競技に 5 名のアドバイザー、22 競技に 26 名のトレーナーを招へいし、強化練習会等で指導を受け、県内指導者の資質の向上と本県選手の競技力向上を図った。

(エ) 選手強化対策補助事業

国体での上位入賞を目指し、競技団体ヒアリング等を通じて各競技団体の現状の把握に努め、効率よく強化事業が展開されるよう競技団体との連携を密にした。また、競技団体強化担当者が、各種全国大会等での競技力調査を実施し、本県の戦力分析や優秀選手の発掘に努めた。

イ. 将来に向けた優秀選手の育成

とやまスポーツ道場開催事業

中学校や高等学校の有望な逸材を発掘し、県内の拠点スポーツ施設において長期的な展望のもとに育成・強化を図った。

内 容	競技数	参加者数
練習会、講習会	アイスホッケー競技 ほか 19 競技	873 名

③ 未来のアスリート発掘事業

スポーツ能力に優れた児童を見出し、競技団体、学校、家庭と連携を図りながら、将来のスポーツ界を担う人材育成のサポートを行った。

ア. 16 期生（令和 3 年 1 月指定）74 名

(ア) 育成プログラムの実施

実 施 内 容	実施回数	会 場
「メンタルトレーニング」 関西福祉大学 岡澤 祥訓	5 回	県総合体育センター
「スポーツ栄養」 日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士 舘川 美貴子	3 回	

「コンディショニング」 県総合体育センター 山地 延佳	3回	県総合体育センター 山野スポーツセンター
「ファルトレクトレーニング」 (公財) 富山県体育協会 柿谷 朱実	3回	
「コーディネーショントレーニング」 (一社) コーチングバリュー協会 東根 明人	3回	
「コーディネーショントレーニング(投・走)」 県西部体育センター 宮島 秋子	2回	
「スポーツ講演会」 小矢部 RED OX 所属 山下 学 (ホッケー競技)	1回	

(イ) 県内トップスポーツチーム 体験講習会及びゲーム観戦

期 日	内 容	参加者数
令和4年1月16日(日)	アランマーレ 体験講習会	22名
令和4年2月12日(土)	アクアフェアリーズ 体験講習会 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止	—
令和4年2月13日(日)	グラウジーズ 体験講習会 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止	—
令和4年2月11日(金)	アランマーレ スポーツ観戦	1名
令和4年2月20日(日)	アクアフェアリーズ スポーツ観戦	6名
令和4年3月6日(日)	グラウジーズ スポーツ観戦	17名

イ. 17期生(令和4年1月指定)74名

(ア) 育成プログラムの実施

実 施 内 容	実施回数	会 場
「スポーツ障害」 富山労災病院 山上 亨	※1回	県総合体育センター ※印は WEB 配信による開催
「スポーツ栄養」 日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士 舘川 美貴子	※2回	
「コンディショニング」 県総合体育センター 山地 延佳	1回	
「コーディネーショントレーニング」 (一社) コーチングバリュー協会 東根 明人	※1回	
「コーディネーショントレーニング」(保護者向け) (一社) コーチングバリュー協会 大羽 瑠美子	※1回	

ウ. 奨励賞の授与

1期生から15期生の修了生の中で、各種スポーツ大会で活躍し、その功績が顕著と認められた4名に「奨励賞」を授与した。

エ. 修了生サポートプログラム

体力測定2回 126名 栄養・特別講習1回 57名

オ. 修了生活躍状況の掲示

県総合体育センター正面入口横にボードを設置し、修了生の活躍状況を掲示した。

※現在 17 期生まで累計 1,099 名（うち 日の丸をつけた選手 47 名）

④ 競技スポーツ振興事業

小学生、中学生を対象に、スポーツ教室、記録会及び練習会を実施し、競技スポーツに対する興味・関心を高めることにより、競技スポーツ人口の拡大を図った。

内 容	競技数	参加者数
記録・練習会	スケート競技 ほか 31 競技	8,579 名
教 室	スケート競技 ほか 17 競技	4,446 名

⑤ TOYAMAアスリートマルチサポート事業

本県競技力の一層の向上を目指し、各種強化事業と併せ、選手の発育・発達段階に応じた適切で、より効果的な医科学サポートを実施するとともに、令和元年 12 月に開館した富山県総合体育センター第 2 トレーニング室を最大限に利活用し、選手へのサポート体制のさらなる拡充に努めた。

監督はじめコーチ・スポーツドクター・トレーナー等が連携を図りながら、個々の選手の体力測定結果等に基づくスポーツ医科学的サポートを積極的に展開し、全国や世界の檜舞台で活躍できるアスリートの育成に取り組んだ結果、本事業でトレーニングを実施した選手の中から東京オリンピックで初のメダリストが誕生した。

ア. 委員会等の開催

会議名	期 日	実施内容
委員会	令和 3 年 7 月 1 日（木）※書面審議	R2 事業報告・R3 事業計画

スタッフミーティングについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止

イ. サポート内容

区分	主な内容	人数・回数等
医・科学サポート	メディカルチェック 栄養サポート メンタルサポート ドーピング研修	22 競技 29 種目 787 名
サポートスタッフ 中央講師の派遣	大会・強化合宿への スタッフ派遣	大会 62 日 強化合宿 24 日
調査・研究	H P S C との連携	1 回 (ハイパ°フォーマンススポーツセンターネットワーク構築会議 ※WEB 配信)

スポーツ情報	HOW TO WIN No.28 スポーツ医科学的トレーニング情報No.59	ホームページへの掲載 情報発信
--------	---	--------------------

ウ. スタッフ研修

期 日	会場・内容	参加者
令和4年2月4日(金) ほか8日	オンライン開催 「疲労に対する捉え方とリカバリー(戦略的リカバリー マネージメント)」 ほか8回	県総合体育センター 柿谷 朱実

⑥ スポーツ医・科学研修会等開催事業

ア. アンチ・ドーピング教育・啓発

国体選手を中心としたアンチ・ドーピング教育及び啓発活動の実施を通して薬物乱用や誤用の認識を高めるため、指導者や強化・普及担当者を対象とした講習会を開催し、健全なスポーツ活動を推進した。

期 日	会場・講師・内容	参加者数
令和3年11月25日(木) ～令和4年2月20日(日)	富山県総合体育センター ほか5会場(一部WEB配信) 富山県薬剤師会 藤田智弥 ほか3名 「ドーピングとは・うっかりドーピングとは・検査 について・TUE申請とは」等	166名

※参加対象者 スキー競技 ほか5競技 令和3年度富山県体育協会強化指定選手等

イ. 問診票による健康診断

県体育協会が指定する強化指定選手及び国民体育大会選手1,075名に対し、問診票による健康状態調査を実施した。女性アスリートには、女性アスリート用の問診票も活用している。

⑦ 全国的大会等開催助成事業

全国的・国際的大会や日本リーグ等レベルの高い大会への開催運営費を補助した。

実施期間	令和3年4月～令和4年3月
実施競技	令和3年度カヌースラローム日本代表最終選考会 ほか9大会

⑧ 海外派遣選手激励事業

スポーツをする選手たちに夢と希望をあたえるとともに、スポーツ人口の拡大に繋げることを目的に、国際大会へ日本を代表として出場する選手・監督に激励費を渡した。

国際大会	助成大会	第25回女子世界選手権大会(ハートボール) ほか3大会
	派遣人数	延べ 18名
	派遣先	スペイン ほか 2ヶ国

- ⑨ スポーツ交流事業  
新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止

- ⑩ 東京 2020 五輪特別対策事業  
無観客開催のため実績なし

### 3. スポーツ施設を活用した各種事業と効率的な管理運営

県民が安全かつ快適にスポーツができるよう県総合体育センターをはじめとするスポーツ施設の環境を整え、県民の生涯スポーツの普及振興を図るとともに、健康・体力・生きがいづくりに寄与するため、次の各種事業を実施した。

#### (1) スポーツ施設等を活用した各種事業と効率的な管理運営

##### ① スポーツ施設管理運営事業

施設管理業務とスポーツ振興のソフト事業を一体的に推進するとともに、効果的かつ効率的なサービスの提供に努めた。また、スポーツ人口の拡充を図るため、利用者のニーズに合わせた管理運営を実施した。

特に令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6つの県営体育施設が8月18日から9月26日まで臨時休館した。(ただし、予約済みのみ利用可)

本会では、各施設において、「3つの密」の徹底的な回避を行うとともに、非接触体表面温度測定器・足踏式消毒器の設置や利用人数の制限など感染症防止対策を徹底し、安全かつ安心して利用いただけるように努めた。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、利用人数は前年度比、約10%増加したものの、令和元年度(ピーク時)と比べると約65%に留まった。

#### ア. 県営体育施設(指定期間5年間 平成30年4月～令和5年3月)

施設名	利用人数	施設名	利用人数
県総合体育センター	168,496名	県西部体育センター	96,474名
県高岡総合プール	63,445名	県営富山弓道場	8,283名
県漕艇場	13,181名	県上市カヌー競技場	2,765名
計		352,644名	

#### イ. 県体協体育施設

施設名	利用人数	施設名	利用人数
アオイスポーツハウストレーニング場	7,078名	山野スポーツセンター	739名
屋内相撲練習場	1,533名		
計		9,350名	

## (2) 各種スポーツ教室開催事業

スポーツを始めるきっかけと楽しむことができる場を広く提供するとともに、それらによって作られた自主グループ活動の支援を行うために、次の各種教室を展開した。

### スポーツ教室開催事業の実施状況

施設名	教室	実施回数	延べ受講者数
県総合体育センター	親子チャレンジ	42回	1,281名
県西部体育センター	Enjoyバドミントン ほか1教室	82回	434名
県高岡総合プール	初級スイム ほか42教室	1,054回	14,038名
県営富山弓道場	弓道教室	81回	1,063名
県漕艇場	ボート教室	中止	中止
県上市カヌー競技場	カヌー体験教室	中止	中止
計		1,259回	16,816名

## Ⅲ 収益目的事業

本会が管理運営する県総合体育センターほか5施設に自動販売機を設置し、飲料等を提供した。

また、本会の公益目的事業の推進に資するための付随事業として、日頃スポーツに親しみのない県民がスポーツ施設を知っていただくことで、今後のスポーツ活動に拍車をかけるとともに、個々の体力に応じてスポーツに親しむ契機になることを期待し、管理運営するスポーツ施設の会議室等を公益目的事業以外で貸与した。